



— 令和7年 新春号 —

『ありがとう』っていえたかな？



院長補佐 久道 晴美

「はい、どうじょ。」 「ありがとう」…

子どもたちの日常から聞かれる声です。

私たちは一日に何回「ありがとう」を言葉にできているでしょうか。

「ありがとう」は伝えた人も伝えられた人もお互いが幸せな気持ちになれる素敵な言葉です。しかし、心で思っても声に出さないと相手には伝わりません。照れくさくていづらいこともあります。

意識して声に出す訓練が必要です。小さなことでも感謝して「ありがとう」といみましょう。その繰り返しでそのうち意識しなくても「ありがとう」ということが習慣になります。また、自分自身にも「ありがとう」といえるようになりたいです。

そうなれば、自然にいつも幸せな気持ちでいることができるのです。子どもたちには相手にも自分にも自然に「ありがとう」と口ずさむことのできる人になってほしいと思います。



元職員 山崎律子保育士が  
秋の瑞宝単光章を叙勲されました。

永年当院の養育係長として養育および人材育成にご尽力いただきました。

## <富山県立乳児院ってどんなところ？>

いろいろな事情により、家庭で育てることができない乳幼児（0～3歳まで）を保護者にかわって24時間養育する施設です。（児童福祉法37条に規定された児童福祉施設です。）



## ご寄付、ご寄贈 ありがとうございます。

	お名前
<10月>	吉田さん（黒部市） 林さん（富山市）
<11月>	吉田さん（黒部市）
<12月>	齊藤さん（富山市） 吉田さん（黒部市） 細川さん（立山町） 吉田さん（富山市） 富山短期大学子育て支援サークル すみりー（富山市）

※同意していただいた方のお名前のみ記載しています

## 富山県立乳児院の理念・基本方針

### ●理念

児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。

### ●基本方針

1. 入所児童を中心にして安全で安心できる生活の場を提供します。
2. 個人情報大切に保管、管理します。
3. 児童相談所や、地域と連携して入所児童や、ご家庭を支援します。
4. 職員や実習生に対する教育を充実し、次代を担う養育者を育成します。
5. 災害時（地震・火事・水害）の救護に関して訓練致します。
6. 常に赤十字病院と連携し、病気等に対して迅速に対応します。
7. 入所児童の健全な発育を促進し、保健衛生に心がけます。

## 「苦情申出窓口」の設置について

富山県立乳児院では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

苦情解決責任者、苦情受付担当者及び苦情解決相談員を下記により設置し、子どもが健全に育つよう、利用者の方に安心していただけるよう苦情解決に努めることとしていますので、些細なことでもお気づきの点がございましたらどうぞお聞かせください。

- |            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| 1 苦情解決責任者  | 久道 晴美（院長補佐）                      |
| 2 苦情受付担当者  | 荒川 智江子（事務長）                      |
| 3 苦情解決相談員  | 本間 一正、 岡田 芳美                     |
| 4 苦情解決の方法  | 担当者が随時、面接、電話、書面などにより受付ます。        |
| 5 苦情解決の連絡先 | 電話：076-432-8137 FAX：076-432-8238 |

管理栄養士より

## もぐもぐだより

みんなでふりかけ作りをしました。「かつお節」「刻み海苔」「しらす干し」「炒りごま」の4つの素材を使って、すり鉢ですりつぶしたり、シャカシャカ混ぜたり、楽しみながら自分だけのふりかけが出来ました。昼食でさっそく温かいごはんにかけて、みんなモリモリ食べて、おかわりをしていました。今後もいろいろな体験を通して、ごはんの時間が楽しみになってくれたら嬉しいです。



### これからの行事予定

2月  
節分



3月  
ひな祭り



## 富山県里親支援機関事務局

里親が育てる。社会が支える。

で、お気軽にお問い合わせください。  
個別説明&相談会を随時開催しています

お手伝いをしてみませんか？  
に虹がかかったのではないのでしょうか。  
里親制度は子どものための制度です。この  
制度を通して、子どもたちの心に虹をかける  
お手伝いをしてみませんか？

がかかった冒頭の言葉。  
「わしは、1ダースの男の子よりもアンの  
方がいいよ。いいかい、1ダースの男の子よ  
りもだよ」この一言で、アンの曇った気持ち  
に虹がかかったのではないのでしょうか。

孤児院から農家に引き取られ、常に前向き  
に、たくましく成長する女の子アン。養父が  
倒れ、農作業が困難になったとき「自分がこ  
こに来るよりも、男の子が来た方が良かった  
のに」とアンは言います。そんなアンに養父

「1ダースの男の子よりも  
アンの方がいいよ」  
(赤毛のアン／養父マシュー)



## 病児保育室 おひさま

0歳～未就学児のお子さんで、病気や病気回復期にあるため  
集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする  
保育室です。

利用時間 月曜日～金曜日 8:00～18:00

(ただし、祝日、5/1、12/29～1/3は除く)

利用料 1回2000円(昼食・おやつ代含む)

とやまっ子育て応援券の利用できます。

富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。



空気が乾燥するとウィルスが活  
動しやすくなります。

部屋は適度な温度(18℃以上)  
湿度(40%以上)を保ちながら  
換気をすることもお勧めします。

お問合せ (080) 8697-2773(直通) 電話受付時間 7:30～17:00

※受診後、診療情報提供書の病名を確認し予約電話の際にお伝えください。

# 七五三

11月20日(水)

七五三の宮参りに行きました。  
天気も良く七五三日和のよい日でした☀  
着付けでは少し不安な表情がみられましたがバッチリ着こなして、足袋と草履を履いて歩くのもとても上手でした！  
そしてお宮参りでは、静かにお話を聞くことができました。  
これからも健康に過ごせますように★



# クリスマス

12月25日(水)、乳児院にもサンタさんとトナカイさんがプレゼントを持って遊びに来てくれました！プレゼントの中身が気になってもらった瞬間から開けようとする子どもや、プレゼントを嬉しそうに抱きしめる子ども、サンタさんやトナカイさんが少し怖くて泣いてしまった子どもなど、反応は様々でした。プレゼントを開けた時には「わぁー！」という嬉しい声が乳児院に響きました。プレゼントのおもちゃでいっぱい遊んで満足げな子どもたち。子どもたちの嬉しそうな表情を見て、養育者まで自然と笑顔になっていました。またいっぱい遊ぼうね。

お昼ご飯のパンをいっぱい食べて、お腹をパンパンにしてお昼寝をした子どもたちでした。



『無料ピザで地域支援』でドミノピザ様から寄付をいただきました！初めてピザを食べた子どもたち。真ん中だけ食べたり、ミミから食べたりと自分たちの好きなようにおいしく食べていました☺  
お腹いっぱい♡ありがとうございました♪



おもちゃメーカーのPeople様よりクリスマスプレゼントをいただきました。「赤ちゃんが安心してなめられるように」そんな思いから作られた“お米のおもちゃ”です。たくさん遊ばせてもらいます♪

